

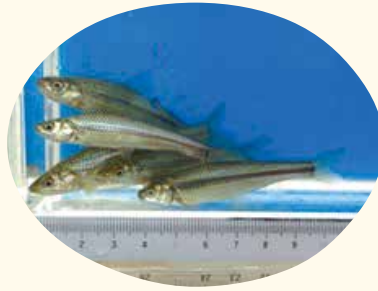
## 魅力ある中山間の未来をつくる

地域の特性に応じた多様な地域住民活動の展開を図るため、ワークショップの手法を用いて、地域住民活動の活発化や組織作り等を支援します。



ワークショップ事業 (H26)

那珂川町ホンモロコ養殖組合連絡協議会が、那珂川町立の小中学校と幼稚園の給食に「那珂川町里山ほんもろこ」を提供しました。ほんもろこは、骨が柔らかい淡白な味のコイ科の小魚で、清流を引いた休耕田を活用した池で手塩にかけて育てられました。子どもたちは「ほんもろこのこまからめ」を頭からばくばくと平らげ、おかわりの列にはたくさんの子どもが並びました。今後は加工品の開発や飲食店へのPRなど、より一層積極的に販路拡大に取り組んで行く予定です。



# 地域住民が主役。

『ホンモロコを活用した地域活性化』  
(那珂川町馬頭地区)

『地元食材弁当の開発』  
(茂木町飯地区)

弁当や総菜などの新商品開発のための研究結果として地区の中心施設である「いい里さかがわ館」において新作弁当等を開発し、販売しています。

食材は、地元産のコメを使用し、野菜にこだわり、季節の野菜の天ぷらなど10種類のおかずが詰まっています。冷凍物は使わず、全て手作りです。竹皮を張った弁当箱、包装紙のデザイン(4種類)は、茂木高校美術部生徒が協力しています。



ワークショップ事業 (H24)

